

## 農林水産大臣賞【交流促進部門】

団体名 有限会社シュシュ  
代表者 代表取締役 山口成美  
所在地 長崎県

### (表彰理由)

専業農家8人で立ち上げた有限会社で、地元農産物の直売所、加工施設、菓子工房、レストラン、農業体験施設、体験教室を持ち、専業農家としての自立を基本に、生産・加工の人材の養成、都市住民との交流、学校や市民団体との食育、団塊の世代を対象とした「農業塾」の開催など創造性に富む活動を展開。

- 専業農家自らが有限会社を設立し、単なるもぎ取り観光農業から、生産から加工・販売、レストラン、食育の取組まで一貫した経営
- 役員8人（40代以下5人）と総務、レストラン、加工施設等に約40名の地域雇用を創出
- 素人から各分野のプロへの人材育成により全体として若く活力ある集団
- 体験教室には、地元の学校をはじめ、親子教室、婦人会、地元会社、県外の高校生の修学旅行などを受入れ
- 団塊の世代の帰農を進めるため、「農業塾」を企画
- メロンの文字入れ、傷つき薔薇の袋詰め（風呂用）、にんじんカステラなどアイデアに富んだ商品開発
- 毎月1回の宣伝紙を発行、来所者のみに配布し、口コミによる宣伝を重視
- 平成17年度入り込み客44万人・売上額487百万円

### 《活動の内容及び効果》

[消費者と共に地域農業を協働する]

#### 1 地域農業の振興への貢献

活動の原点である直売所（新鮮組）の運営は、出荷農家の限定を行うことにより、農家所得が確保され、生産意欲の向上となっている。シュシュの活動により、農産物の地域内流通が進むにつれ、地場農産物への評価が高まってきており、周辺でも相次いで直売所活動がスタートした。消費者と生産者が直接交流することで「安全・安心」への意識の向上など地域農業の振興に大きく寄与している。

#### 2 地場農産物の有効利用

大村市産の原料を活用した「アイス工房」・「パン工房」・「洋菓子工房」、地元の新鮮な野菜や加工品等などを販売する「農産物直売所」、地元の食材にこだわり、郷土料理も提供する「農村レストラン」、定植から収穫まで一連の作業が車椅子でも体験できる「農業体験農場」、農産物の加工ができる「体験教室」など、様々な取組を行っている。

#### 3 自治体等との協力関係

常に新しい情報を取り入れ、新分野への取組も意欲的に行う活動が評価され、大村市全域に「地産地消」の気運が高まると共に、中学校や高校生の職場体験の受入れや大村市観光農園の窓口、郷土芸能や地域の祭りの拠点施設など、大村市の学校教育や観光産業との連携においても重要な位置づけとなっている。また、青年農業者への活

動支援をはじめ、農協青年部、県立大村城南高校との活動連携など担い手育成にも積極的であり、地元PTA組織や婦人団体などとの意見交換や圃場巡回など、地場農産物への理解を高めるための活動にも意欲的である。

#### 4 「顔が見え、話ができる」取組

農産物直売所で販売している農産物には生産者名を明記し、店内には生産者の圃場や顔写真を掲示するなど地場産への理解が高まるよう工夫している。また、生産者は長崎県のエコファーマー認定を受け環境に配慮しつつ農地の生産力を維持・増進する農業にも取り組み、消費者からも信頼を得ている。さらに、生産者は定期的に直接販売することで消費者の生の声を生産につなげている。

#### 5 地場農産物の理解の促進

消費者と農業者の交流を図るため、多くのイベント（シュシュ祭等）を行っている。また、消費者向け情報誌やホームページを通して、季節の生産情報、生産者のこだわりや紹介などを行い好評である（毎月1回3,000～5,000部を発行、ホームページでも閲覧可）。

#### 6 体験型観光農業の拠点

地域農業と連携させた積極的なグリーン・ツーリズムの取組が評価され、年間44万人が訪れるなど長崎の体験型農業の「顔」となっており、県内各地の観光振興の取り組みに対する助言等、長崎県の観光振興にも広く協力されている。

